

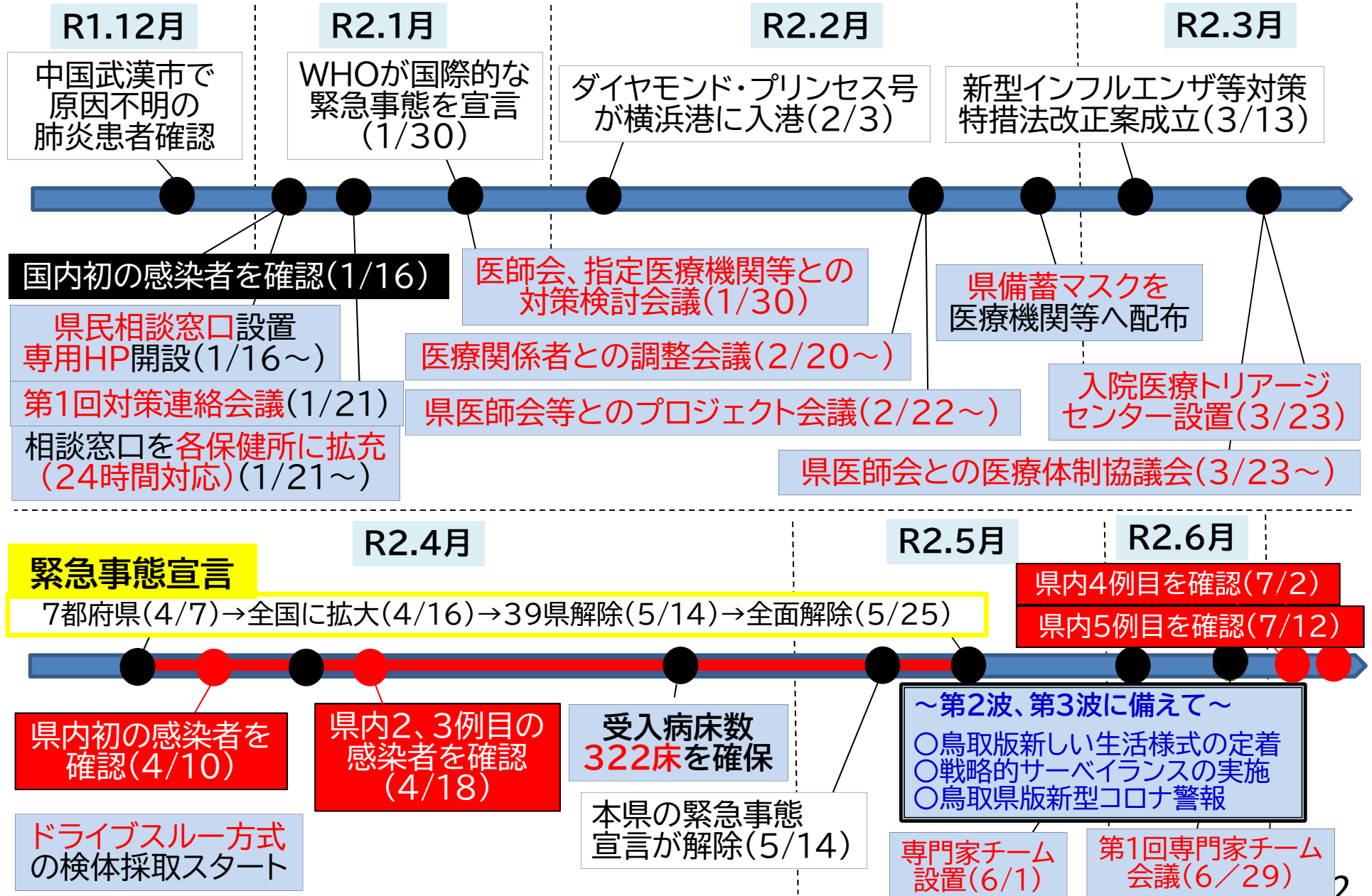
# 新型コロナウイルスへの鳥取県の取組

- 鳥取県における感染状況と対応経過  
1 P ~
- 医療面の取組・支援  
6 P ~
- 経済回復への取組・支援  
12 P ~
- 「新しい県民生活」の推進  
14 P ~

# 県内感染確認事例

No.	発生日	年代	性別	居住地	現状	接触者の調査状況	感染経路
1	4月10日	60代	男	鳥取市	退院済 (5月20日)	96人 (全て陰性)	不明
2	4月18日	50代	男	米子市	退院済 (4月23日)	42人 (全て陰性)	松江市クラスター事案の患者と接触
3	4月18日	20代	男	鳥取市	退院済 (5月25日)	175人 (全て陰性)	不明
4	7月2日	30代	男	鳥取市	退院済 (7月17日)	359人 (全て陰性) ※7/16現在	調査中
5	7月12日	30代	男	東京都	入院中 (7月12日～)	123人 (全て陰性) ※7/16現在	調査中

# 全国に先駆けた本県の対応経過

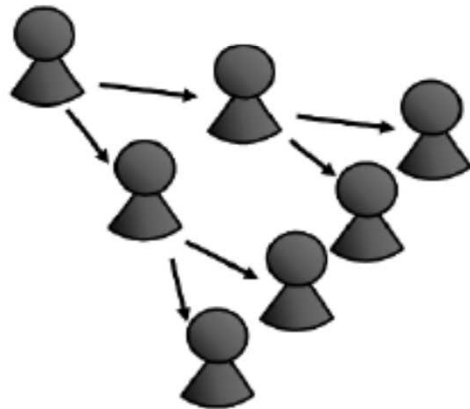


# 日本のクラスター対策


この感染症は、クラスターを形成することで感染拡大。特に感染初期ではクラスターを制御できれば、感染拡大を一定程度制御できる、という戦略。

## ○インフルエンザ（2009年H1N1）の場合

⇒1人の患者が複数名に感染させる。

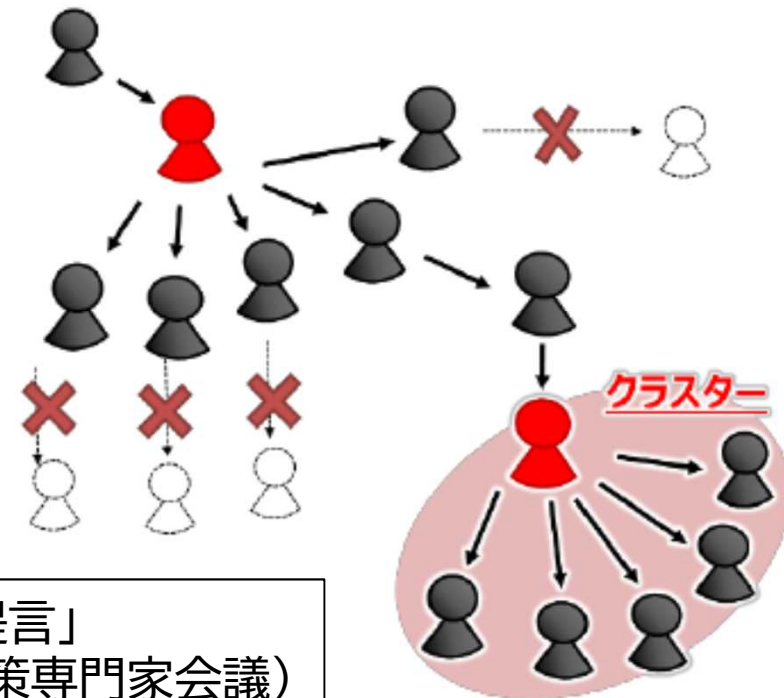


## ○新型コロナウイルスの場合

⇒重症・軽症にかかわらず、感染者（図：）の5人に4人（約80%）は他の人に感染させない。

残りの1人（約20%）の感染者が他の人に感染させるが、稀に多くの人に感染させる感染者（図：）が発生。

このため、**クラスター感染（集団感染）**が発生。



「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」  
（2020/5/29新型コロナウイルス感染症対策専門家会議）

# 第二波に備える医療提供体制の構築

## ①新たな流行シナリオを踏まえた患者推計

国の標準設定より厳しい条件設定で安全サイドに立って推計

### ➤ 協力要請前の実効再生産数

[国標準設定] 1.7 ⇒ **[鳥取県] 2.0**

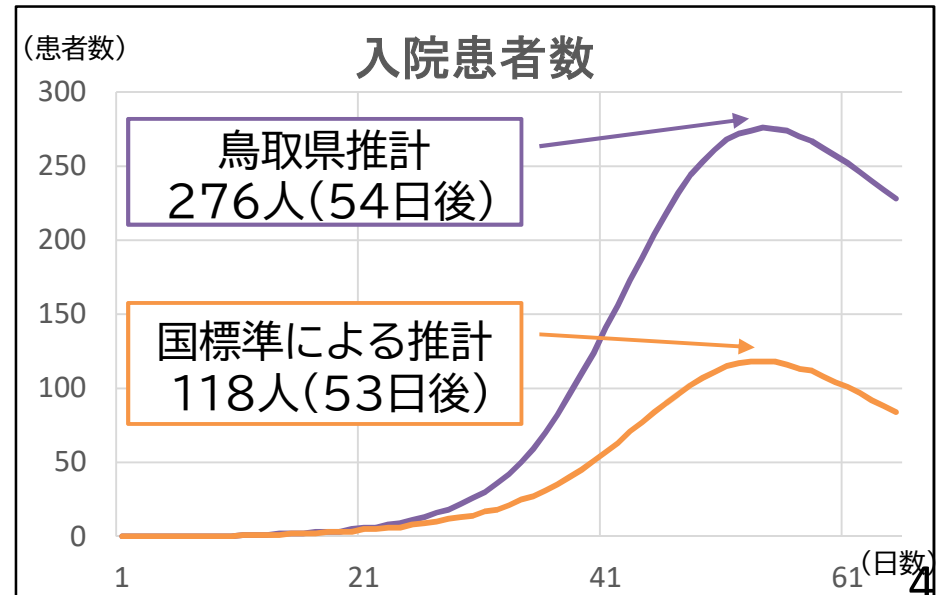
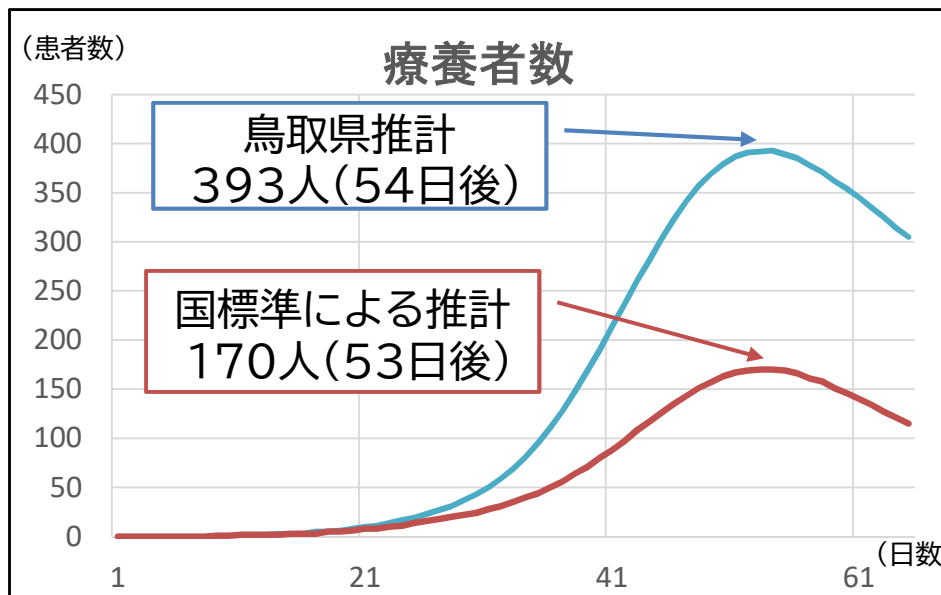
(東京の事例を踏まえた数値)

(想定以上に感染拡大する場合:武漢並みの数値)

### ➤ 協力要請を行うタイミング

[国標準設定] 基準日から3日後 ⇒ **[鳥取県] 基準日から4日後**

※基準日:人口10万人当たりの新規感染者数が2.5人/直近1週間となった日。



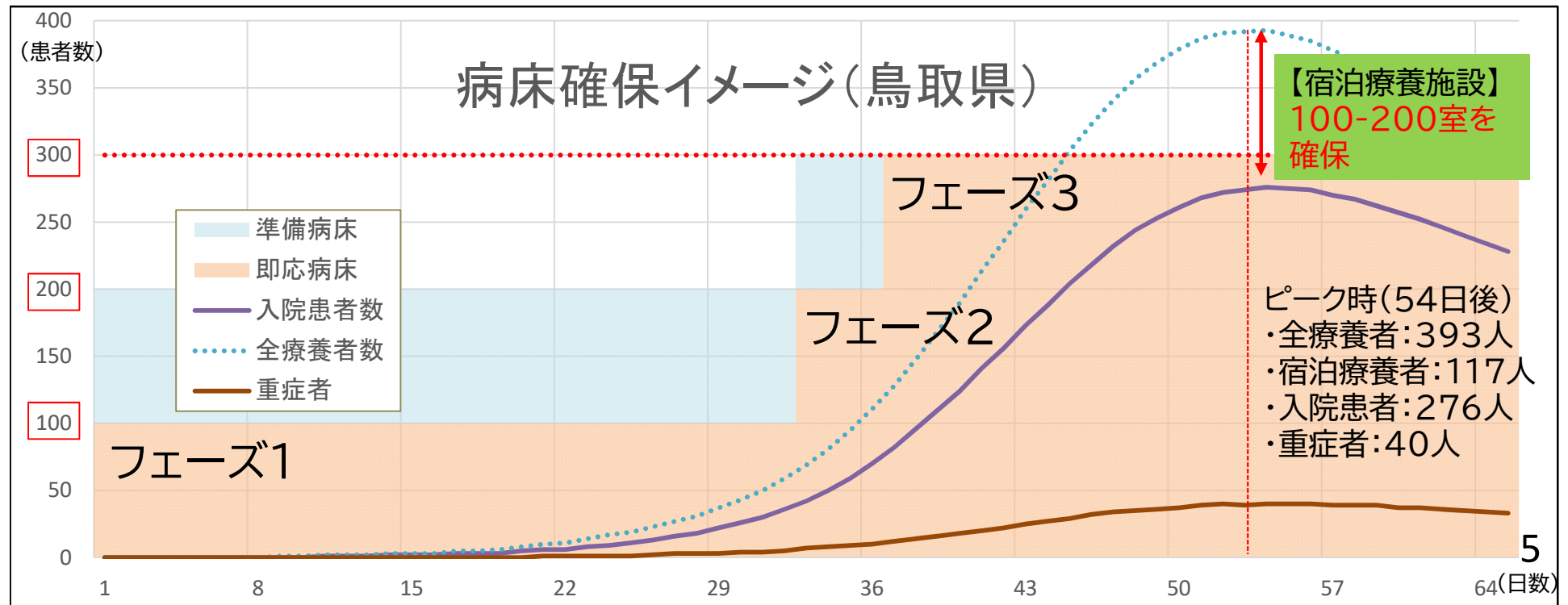
# 第二波に備える医療提供体制の構築

## ②患者推計に基づく病床確保計画

- 国標準より厳しい条件による患者推計をさらに上回る病床を確保  
入院患者ピーク 276人 ⇒ 確保病床 300床
- 最初のフェーズで100床確保し、クラスター発生リスクに対応
- 早い段階でフェーズを切り替え、病床ひっ迫を回避

フェーズ2:フェーズ1の病床数(100床)の4割を超える日から移行へ

フェーズ3:フェーズ2の病床数(200床)の4割を超える日から移行へ



# PCR検査の対象拡大と体制強化

## 検査対象拡大の推移

1/30 衛生環境研究所の検査体制整備 対象:主に症例定義にそって判断

【当時の国の症例定義】※①及び②を満たす場合

①発熱(37.5℃以上)かつ呼吸器症状を有している。

②「発症から2週間以内に武漢市への渡航歴がある」か「武漢市へ渡航歴があり発熱かつ呼吸器症状を有する人」との接触歴がある。

⇒2/7 国の症例定義にとらわれず、検査が必要だと認められるケースには柔軟に検査を実施する方針に変更

⇒3/27 他県の医療機関クラスターの感染源が医療従事者であった事例を受け、医師が必要と判断すれば、症状のない医療スタッフの検査も実施(院内感染対策)

⇒5/14 更に対象者を拡大(院内感染対策)

・ 入院患者:基幹病院

(目的:高度治療を行う基幹病院の院内感染防止)

・ 妊婦:分娩を取り扱う病院・診療所・助産所

(目的:周産期医療体制の維持)

## 検査体制強化の経緯

当初

1日**120検体**  
(24h対応)



3/30

鳥大附属病院に県費で  
検査機器を設置

1日**16検体増**



4/21

衛生環境研究所に畜産  
関連の検査機器を投入

1日**60検体増**  
(人員体制も強化)



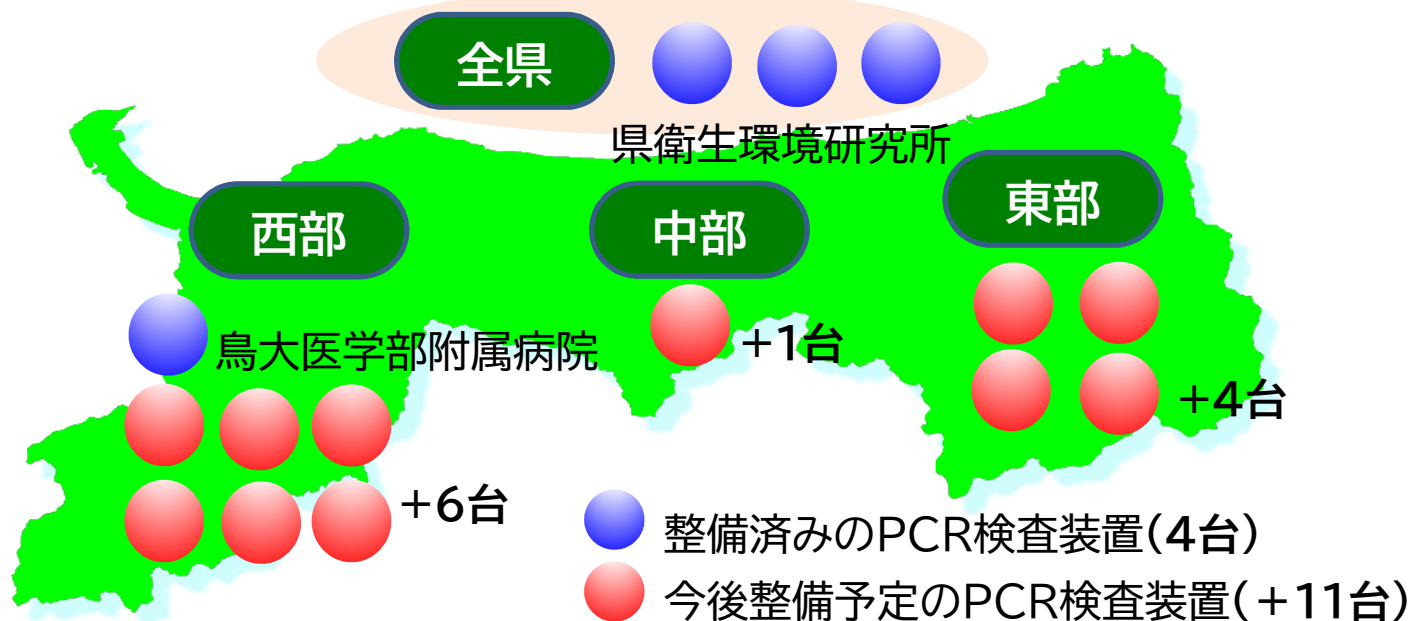
現在

1日**196検体**

6

# 鳥取型PCR検査体制整備による戦略的サーベイランス

今後、県内の医療機関にPCR検査機器を早急に整備  
 現在の検体数**196**検体/日 ⇒ 約**400**検体/日に拡充



検査情報を速やかに収集・分析 ⇒ PCR検査数拡充により戦略的サーベイランスを実施

(参考)PCR検査と抗原・抗原検査

- ① 第2波を素早く探知し、対策を立案。
- ② 地域医療を守るため、手術前の患者や分娩前の妊婦などPCR検査が必要とされる方に対し幅広く検査を実施し、院内感染対策を強化。

区分	意義	検体	長所	短所
PCR検査	今感染しているかどうかを判定	鼻咽頭拭い液、喀痰、唾液など	感度が高い	判定に時間がかかる
抗原検査		鼻咽頭拭い液、唾液	短時間で判定可能	感度が低い
抗体検査	過去の感染の有無を判定	血液	流行の全体像を把握できる	擬陽性が起こりえる



# ドライブスルー型PCR検査センター

医師会、看護協会等の協力を得て、保健所の運営コーディネートのもと、ドライブスルー方式によるPCR検査センターを運営中(全県実施は全国初)

医療機関や保健所の  
駐車場で実施



県内各圏域で実施

検体採取



PCR検査の実施



県衛生環境研究所  
鳥取大学医学部附属病院

協力

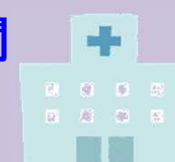
◎保健所

- ・派遣医師等の登録
- ・スケジュール調整 等



◎医師会・看護協会・医療機関

- ・問診
- ・検体採取 等



連携

《今後のPCR検査の対象》

これまでは…

医師が疑う場合は全て検査。  
濃厚接触者以外の接触者も検査



対象者を拡大

○入院患者:基幹病院(県立中央病院、鳥大医学部附属病院)  
(目的:高度治療を行う基幹病院の院内感染防止)  
→今後、県立厚生病院をはじめ、その他の基幹病院等に拡充予定

○妊婦:分娩を取り扱う病院・診療所・助産所  
(目的:周産期医療体制の維持)

# 鳥取県版 新型コロナ警報

国の想定や他県よりも厳しい基準

専門家意見に基づき、総合判断(状況に応じ、前倒し)

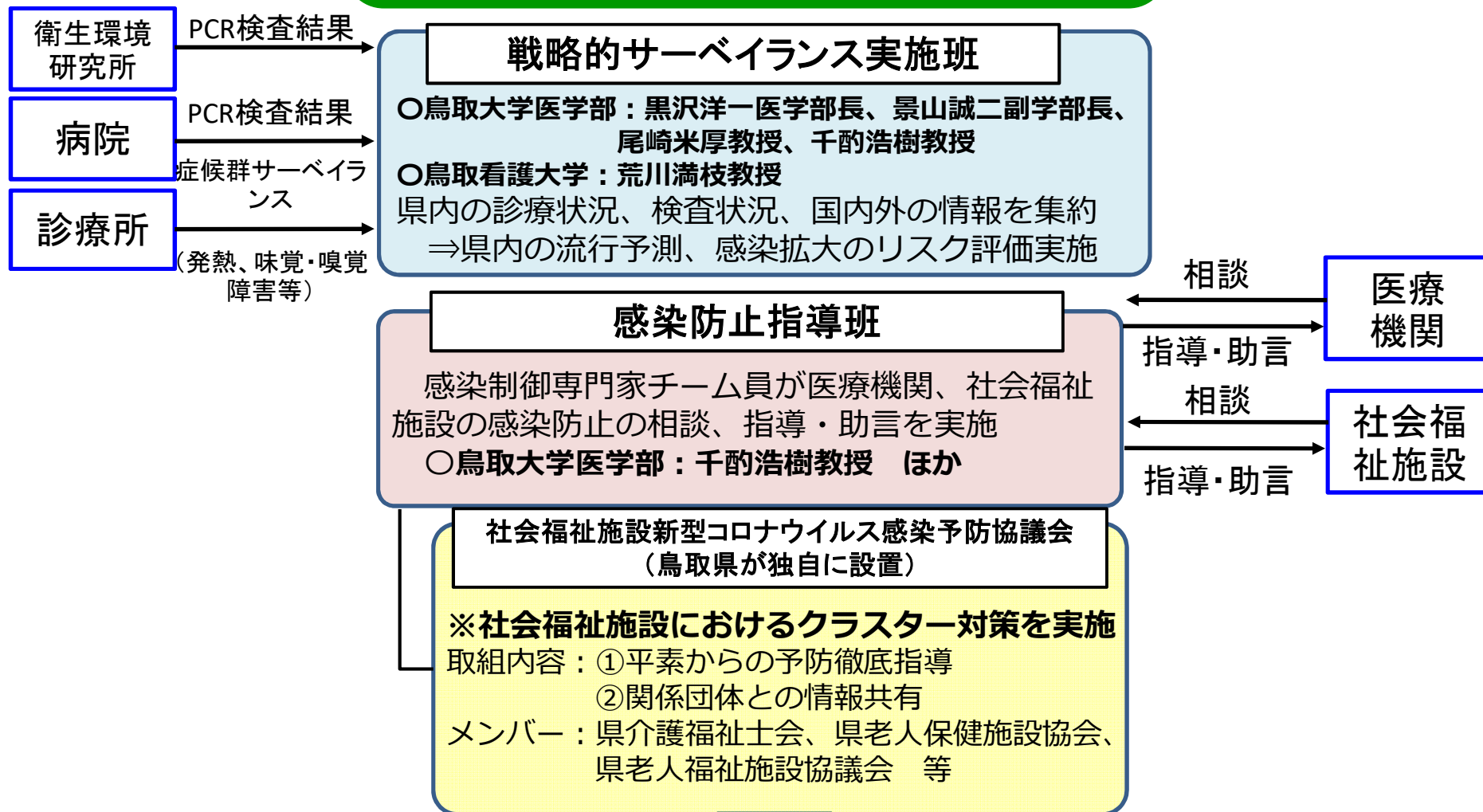
活動制限は、必要性が高いものに要請

活動制限だけでなく、医療強化も発動

区分		注意報	警報	特別警報
指標	新規陽性患者数	1人 (東・中・西部いずれか)	全県で6人/週 (東部 3人、中部 2人、西部 3人でも発動)	
	感染経路不明等	—	感染経路不明などで感染拡大のおそれ	
	病床・人工呼吸器	—	—	どちらかで 稼働率 50%超
活動制限	外出・イベント・施設	○感染拡大を予防する事項の呼びかけを強化 ・手洗い励行、マスク着用 ・換気の徹底 ・施設内の消毒	○発生施設に係る箇所、3密な場所 ○状況に応じて不要不急の外出自粛を要請  ○比較的規模の大きなイベント等から順次制限 ○必要性があると認められる業務や施設に限って要請	○8割の接触削減(生活維持に必要なものを除く外出自粛)
	学校	○感染者の学校休業が基本	○休業、分散登校等(全県も)	○全県で休業
医療強化	保健所	○疫学調査応援職員を派遣	○疫学調査応援職員を派遣    ○相談センター応援職員を派遣 等	
	医療・福祉	○施設内感染対策の確認 ○病床確保の準備 等	○施設内感染対策の徹底 ○必要物資の送付、空床確保 等	○病床・人工呼吸器 緊急調達 ○施設への医療人材の派遣 等
要請の法的根拠等		協力依頼 等	特措法第24条第9項による要請 等	特措法第45条も発動 等

# 感染防止体制の構築

## 鳥取県新型コロナウイルス対策専門家チーム

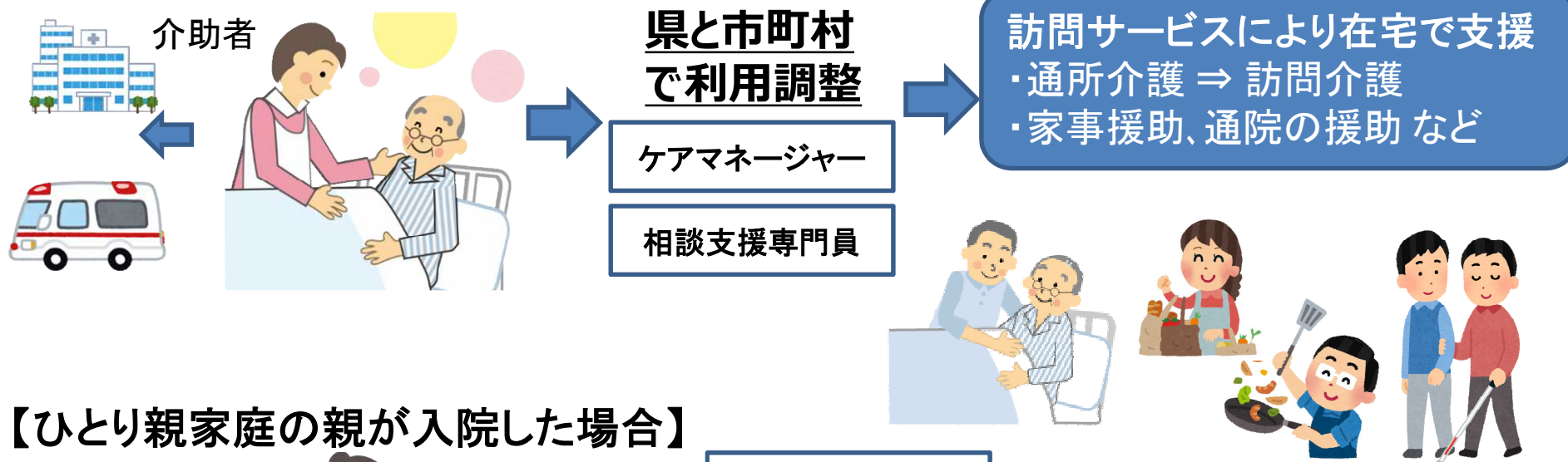


**流行を早期に探知し、素早く対策を実施**

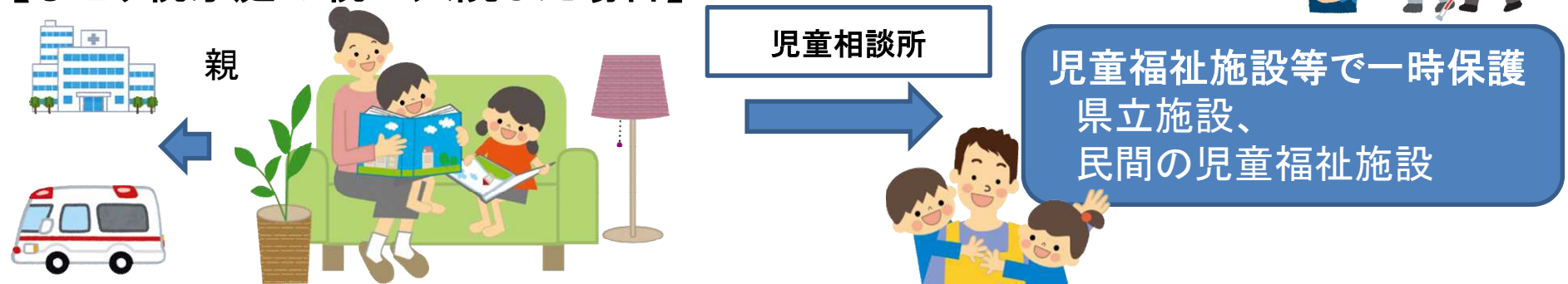
# 入院患者の家族支援 新型コロナウイルス入院患者家族支援事業 (14,189千円)

医療機関に家族が入院した場合に、家族の介護や子どもの預かりが必要となるケースに対応

【自宅で高齢者・障がい者の介助をする家族が入院した場合】



【ひとり親家庭の親が入院した場合】



家庭におけるさまざまな相談をワンストップで受け付ける「家族まるごと相談窓口」を県に設置 (令和2年4月30日~)

# 感染防止対策・経済回復への支援

## 鳥取県の支援策

### 〔4月補正予算〕

- 頑張ろう「食のみやこ鳥取県」緊急支援事業 定額10万円
- 企業内感染症防止対策補助金〔緊急対応型〕上限20万円（補助率3/4）  
→ 仕切り用のアクリル板の消毒液の購入・設置等
- 企業内感染症防止対策補助金〔体制整備型〕上限200万円（補助率3/4）  
→ テレビ会議システム、ネット通販システムの導入等
- 危機突破企業緊急応援補助金〔経営危機克服型〕上限50万円  
（補助率3/4）  
→ 新商品開発や新たなサービスの提供、新分野進出など企業の新たな取組
- 危機突破企業緊急応援補助金〔感染症対策型〕上限1,000万円  
（補助率2/3）  
→ 「非対面型ビジネス」への転換に必要なシステム開発、感染予防・防止に向けた各種商品・システム開発に要する経費
- 非対面型販売促進事業 上限50万円（補助率2/3）  
→ 県産農林水産物を取り扱う食品加工業者が行うインターネット商談、インターネット販売及び商品サンプル等の製造等
- WEB面接システム導入促進事業補助金 上限10万円（補助率1/2）

# 感染防止対策・経済回復への支援

## 〔調整費+6月補正予算〕

- 新型コロナウイルス克服再スタート事業 定額10万円  
→ 売上3割以上減の中小事業者に対して、家賃など固定費も含めた負担軽減
- 地域で頑張るお店応援事業 上限20万円（補助率3/4）  
→ 複数事業者が連携して行う地域の盛り上げや需要喚起につながる取組等
- 新型コロナウイルス感染拡大予防対策推進事業 上限20万円（補助率9/10）  
→ 飲食、宿泊、観光等及びその他売上急減店舗が感染予防対策の導入・維持を行う経費
- 新たな生活様式に対応した交通事業者応援事業（補助率3/4）  
→ 交通事業者が行う新型コロナウイルス対策に係る資機材整備等に要する経費等
- 農林水産関係感染症防止対策環境整備支援事業 上限20万円（補助率3/4）  
→ 農林水産業関係の団体等が行う共同利用施設等で行う集出荷作業時等に必要な感染予防及び事業継続に必要な感染拡大防止等の取組
- 農林水産物消費回復・拡大緊急プロジェクト支援事業 上限500万円（補助率2/3）  
→ 農林水産業関係の団体等が行う販路開拓、新たな生活様式に合わせた新商品の開発等
- 鳥取型「新たな生活様式」に即したイベント等開催支援事業 上限50万円  
（補助率10/10）  
→ イベント、スポーツ大会、講演会、研修会等の開催にあたり、三密を避けるなど新型コロナウイルスの感染予防の対策に要する経費

# 業種別ガイドラインの普及

## 県版ガイドライン：14業種で策定

- 各関係団体や専門家の意見を聞きながら、**県版ガイドラインを策定・更新**
  - ・策定済：飲食、接待を伴う飲食、宿泊、理容、美容、クリーニング、公衆浴場、登山客向、スポーツジム、ライブハウス（オーダーメイド型）、海水浴場、イベント（公演、スポーツ、販売促進）
- ＜参考＞全国の業種別ガイドラインの状況 157件のガイドラインのうち152件策定済
- 新型コロナ克服のための安心相談・応援窓口を設置**
  - **地域イベントについてのガイドラインにかかる相談体制の充実**
- ガイドラインの定着状況や課題等について、団体等への聞取を実施**
  - **定着状況が良くない業界の事業所にガイドラインを送付**

## 「協賛店」制度：1329店舗

- 店舗が**対策チェックリスト・「協賛店」ステッカー**を掲示
  - ⇒**安心して利用していただけることを見える化**
  - 飲食店・宿泊施設等生活衛生関係業、運輸業、観光業、サービス業等幅広く展開



## 新たな「認証」制度：2店舗

- 高度な感染予防対策に取り組む店舗・事業者に対して、県が認証書を交付**
  - ⇒**協賛店のモデルとなる模範的店舗としてPR**
  - ・認証店：ライブハウス1店舗、理容所1店舗

(7/16時点)

# 新型コロナウイルス感染症に打ち克つ「新しい県民生活の推進」

新型コロナウイルス感染症を克服するための新たな組織を設置して「**新しい県民生活**」の定着や県内の需要喚起に向けた取組を官民挙げて展開

## 鳥取型「新しい県民生活」 新型コロナウイルス克服3カ条

- あいだがあいだ  
1. 人と人間が愛だ（社会的距離）
- みつだとみすだ  
2. 三つもの密だとミスだ（三密回避）
- よぼうでよぼう  
3. 幸せは 予防で呼ぼう（感染予防）



他の人と距離をとろう



密閉+密集+密接  
を避けよう



健康づくり  
手洗いやマスク  
着用

## 鳥取県民コロナに打ち克つ 行動宣言

### 「鳥取県民コロナに打ち克つ行動宣言」

コロナを克服し、安心・安全で活力ある鳥取県を取り戻すために、取り組みを進めます。

1. 県民みんなで、感染予防を取り入れた生活をします。
2. 事業活動においても感染防止対策を実践します。
3. 県産品の購入、県内のお店の利用・県内観光で県内の事業者を応援します。

## 新型コロナ対策認証事業所・ 新型コロナウイルス感染予防対策協賛店

県版新型コロナウイルス感染拡大予防対策例や業界作成のガイドラインを基に、感染予防対策に取り組む事業所

(7/17現在)

認証事業所 **2**、協賛店 **1, 359**



認証店第1号  
「アフター  
アワーズ」  
(ライブハウス)



# 楽しんで、発信して応援 「美味しい 楽しい 行ってみみ隊」

コロナ禍の中で頑張る県内のお店、県産品、観光施設、アクティビティ等を、感染予防のための「新しい生活様式」を実践しながら応援する県民運動

- ✓ 職場の仲間で、家族で、新しい生活様式を取り入れながら頑張る県内のお店、県産品、観光施設、アクティビティ等を利用して、応援しましょう
- ✓ 利用したら、情報を発信して、もっとたくさんの人に応援の輪を広げましょう



美味しい 楽しい 行ってみみ隊@鳥取県

@11temitai

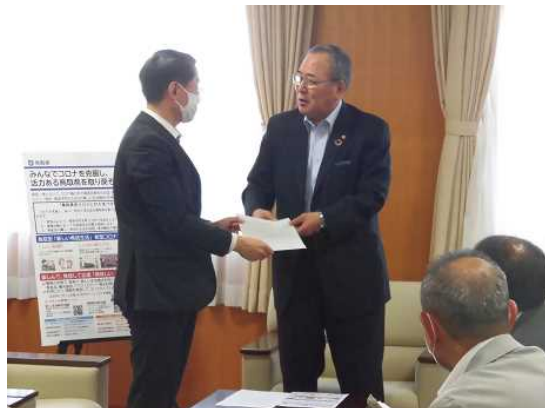
コロナ禍の中で、感染予防に取り組みながら頑張る鳥取県内のお店、県産品、観光施設、アクティビティ等を応援する情報を発信します！

プロフィールを編集

## ぜひ、#鳥取行ってみみ隊

で発信をお願いします！

- ✓ 県職員や102(7/17現在)の県内団体・事業所の職員が実践中。応援して下さる団体・事業所を募集中です



6/19 商工会議所連合会に参画を要請



6/21 知事はじめ県庁職員有志により鳥取砂丘でファットバイクを体験

